

令和 6 年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名	経営管理演習Ⅰ・Ⅱ		担当教員	八木 孝幸		
	英語授業科目名	Seminar on Business Management TheoryⅠ,Ⅱ		単 位	各 4	学 期	通年
対象年次	1・2 年次	クラス指定		他との関連			
履修条件	経営管理特論 A・B を同時に履修すること。						
テーマ・副題	経営管理に関する諸理論の研究						
授業の教育目的・目標	経営管理に関する理論の更なる研究とそれを基にした院生自身による研究の完成。						
授業の理解度の達成目標	企業の経営管理について理解を更に深めた上で院生自身により研究を行ってもらい、その成果として 2 年次終了までには修士論文を書き上げてもらう予定である。						
授業キーワード	「授業展開」の欄を参照のこと。						
授業の内容	基本的には、『経営管理特論 A・B』でレクチャーすることができなかった「経営管理論」について、研究を行う予定である。						
授業の方法	各回ともゼミ生代表による配布資料のレポートと、その内容を基にしたディスカッションを予定している。またゼミ時間の後半は、2 年生による修士論文の内容発表を予定している。						
授業展開	（1 年次） 1. 現代における基本社会問題／2. 管理の本質と要素 3. 経営管理の担い手／4. 組織構造マネジメント 5. 組織構造の発展／6. 組織文化の定義と構造 7. 組織文化の機能と逆機能／8. 組織文化の形成と変革 9. 組織の経営環境への適応／10. 環境変化と組織構造 11. 企業戦略マネジメント／12. 企業戦略と多角化 13. 競争戦略マネジメント／14. 経営資源アプローチ 15. 前期まとめ （2 年次） ：修士論文のテーマ設定と内容の指導			（1 年次） 16. モチベーション論①（黎明期）／17. モチベーション論②（発展期）／18. リーダーシップ論の変遷／19. リーダーシップ関連理論／20. フォロワーシップの定義 21. フォロワーシップ論の歴史／22. フォロワーシップの社会心理学的考察／23. 組織市民行動／24. 企業統治論 25. 日本における企業統治①（スチュワードシップ・コード） 26. 日本における企業統治②（コーポレートガバナンス・コード）／27. 米国発の企業の社会的責任／28. 欧州発の CSR 論 29. ESG 投資からインパクト投資への変遷／30. 後期まとめ （2 年次） ：修士論文の作成指導			
成績評価方法	レポート等の評価（70％）及び講義への取り組み姿勢（30％）によって総合的に評価する。						
成績評価基準	総合点が 80 点以上を A, 79～70 点を B, 69～60 点を C, それ以下を D とする。なお、無断欠席が 1／3 以上となった者は E 評価とする。						
テキスト	初回演習にて指示する予定である。						
参考図書	適宜、指示する予定である。						
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	資料を事前に配布するので、次回演習までに資料を読んで 2 時間以上の予習をしておくことが望ましい。また、事前にゼミ生ひとりを指名して資料内容に対するレポートを行ってもらう予定なので、指名されたゼミ生は準備（レジュメ等の資料作成）が必要となろう。						
学生へのメッセージ	大学院での主役はあなたです。積極的に演習へ参加してくれる院生の履修を期待しています。						
オフィスアワー	担当講義多数につき、院生による質問・相談は E メールにて随時受け付ける。						
連絡先	電話番号	0274-42-2828 (代)		メールアドレス	takayuki@jobu.ac.jp		
人数制限	特になし。						

